



中谷 元 防衛大臣来沖



翁長沖縄県知事との面談



稲嶺名護市長との面談



ニコルソン四軍調整官へ挨拶する中谷大臣

目次

CONTENTS

中谷防衛大臣の沖縄訪問	2
陸上自衛隊与那国駐屯地部隊編成完結式	2
旧慶佐次通信所の土地の引渡し	3
新潟大学教育学部附属新潟中学校の追究学習について	3
第24回「米軍人・軍属等による事件・事故防止のための協力ワーキングチーム(CWT)」会議	4
米軍航空機事故対応に関する米軍との合同実動訓練の実施	4
米軍再編に係る航空機の訓練移転	5
防衛施設周辺対策事業	6
幹部職員の紹介	6
新規採用者の紹介	7
第24回伊江島一周マラソン大会	8
キャンプ・ハンセン ワールド フェイマス マッドラン開催	8

中谷防衛大臣の沖縄訪問

中谷防衛大臣は、3月26日から27日の日程で、沖縄を訪問されました。

26日はキャンプ瑞慶覧においてニコルソン四軍調整官と面談し、国頭村と東村をそれぞれ訪れました。その後、名護市において久辺三区長、稲嶺名護市長と面談し、北部基地所在市町村(国頭村、東村、名護市、伊江村、宜野座村、恩納村)と意見交換を行いました。

翌27日は、中部基地所在市町村(うるま市、読谷村、嘉手納町、北谷町、沖縄市、北中城村、宜野湾市、浦添市)と意見交換を行った後、沖縄県庁で翁長沖縄県知事と面談しました。その後、与那国駐屯地を視察し、外間与那国町長を表敬し、与那国駐屯地開設にあたり、ご支援、御協力をいただいたことに改めてお礼を申し上げます。



北部基地所在市町村との意見交換



外間与那国町長との面談

陸上自衛隊与那国駐屯地部隊編成完結式

我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、南西地域をはじめとする島嶼部の防衛は極めて重要なものと認識しており、その上で、与那国島への沿岸監視部隊の配置については、平成21年6月の外間町長等からの要請を踏まえつつ、平成23年9月に与那国島への部隊配置を決定しました。

平成24年度以降、関係経費を計上し地元との調整を進め、平成26年5月より、与那国沿岸監視隊が配置される駐屯地工事に着手し鋭意工事を進めてきたところです。

この度、平成28年3月28日、部隊編成完結式を開催し、与那国沿岸監視隊が発足しました。

また、同完結式の前日には中谷防衛大臣が与那国島を訪れ、塩満隊長の案内により駐屯地内を視察し、駐屯地の隊員約160名に対し、訓示及び隊員激励を行いました。

沖縄防衛局においては、今後、グラウンド、体育館、宿舎などの施設整備を着実に進めてまいります。

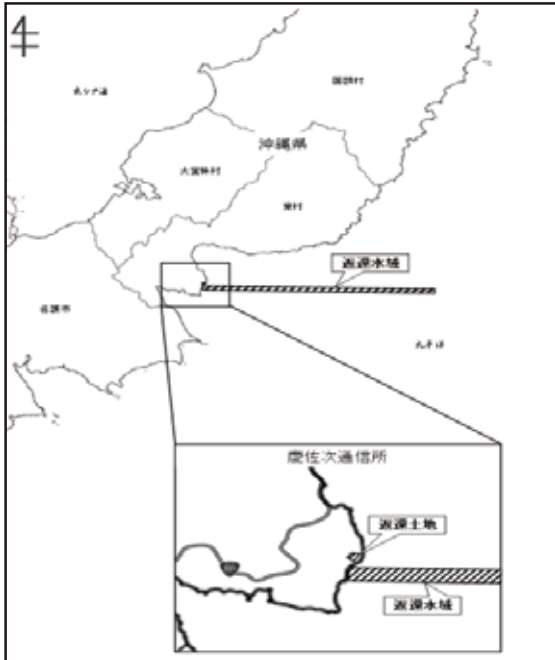


中谷大臣による激励式



小川西部方面総監(左)から塩満隊長(右)へ隊旗の授与

旧慶佐次通信所の引渡しについて



東村にある旧慶佐次通信所(約1ha)は、平成27年2月27日に米軍から返還されました。

沖縄防衛局は、返還後、円滑な跡地利用ができるよう、土壌汚染や廃棄物有無の確認などの支障除去措置を実施してきたところ、本年3月に完了し、地権者である慶佐次区に土地を引き渡しました。

これまで長年にわたり貴重な土地を国の防衛のため提供して頂いた慶佐次区の皆様に感謝申し上げるとともに、支障除去措置の実施に御協力いただいた関係各位にこの場をお借りして感謝申し上げます。



平成27年2月27日に返還された旧慶佐次通信所



【新里 慶佐次区長からのコメント】

旧慶佐次通信所跡地の支障除去措置が順調に完了し、4月1日に本区に引き渡されました。沖縄防衛局の担当者が支障除去期間中、頻繁に区事務所に通い、区の要望を聞き、誠意ある作業をして下さり感謝しております。お陰様で慶佐次区としても何の心配もなく、ランC局の跡地とJRD施設跡地の1haを抱き合わせて跡地利用を推進して参ります。本区の返還作業に携わった貴局職員ともお会いできて本当によかったと思っています。これからも健康に留意して頑張ってください。

※ランC局は海上保安庁より慶佐次区をはじめとした地権者の方々へ引き渡された慶佐次ランC局のことであり、JRD施設は慶佐次通信所(約1ha)のことでです。

新潟大学教育学部附属新潟中学校の追究学習について

2月4日、新潟大学教育学部附属新潟中学校2年生の生徒の皆さんが、沖縄の基地問題をテーマとした追究学習の一環として沖縄防衛局に来局されました。

はじめに、当局の森企画部長が生徒の皆さんに沖縄をめぐる安全保障環境について説明を行い、その後、生徒さんとの質疑応答を行いました。

生徒の皆さんからは、率直かつ素朴なものから高度で専門的なものまで多岐にわたる質問をいただき、日頃から高い問題意識を持たれていることがうかがえました。

当局での学習が、今後安全保障を考えていく上で、生徒の皆さんの更なる理解の一助になっていただければ幸いです。



追究学習を終えて ～生徒の皆さんからの感想(抜粋)～

- ・ 今回の訪問を通して基地の問題、近隣諸国との問題は他人事ではないということを知ることができました。
- ・ 中国などアジア諸国との関係、沖縄の米軍基地のくわしい移設計画や状況を知る、学ぶことができました。
- ・ お話を通して国民と県民両方の立場になって辺野古移設のことを考えているということがわかり、様々な角度から物事をみていてすごいと思いました。
- ・ 2020年代に多くの土地が返還される予定であることにとっても驚きました。
- ・ 基地周辺に住む住民の方々に騒音被害などの負担を抱えさせている分、町づくりに支援しているというお話は防衛局ならではの取り組みなのでとても参考になりました。

第24回「米軍人・軍属等による事件・事故防止のための協力ワーキングチーム(CWT)」会議について

4月19日、外務省沖縄事務所において、第24回「米軍人・軍属等による事件・事故防止のための協力ワーキング・チーム」(CWT)会議が開催されました。

日本側からは、外務省沖縄事務所、沖縄防衛局、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、沖縄県警察本部、関係市町村並びに関係団体、米側からは在沖縄米軍及び米国総領事館が出席しました。

沖縄県警察本部から、平成27年の米軍人、軍属等による刑法犯検挙件数、交通人身事故件数、飲酒運転の検挙数が増加した等の報告があり、CWTメンバーは事件・事故の減少に向けた努力を強化していくことを確認しました。

米側から、リバティ制度の概要、3月に新たに導入した措置(牧港補給地区以南の地域での一晩を過ごす滞在禁止、性的暴力防止に関する追加研修)の現状、性的暴力防止啓発のための最新の取組み、ゲートでの出入り管理等の説明のほか、リバティ制度のさらなる充実に向けて努力していく旨説明がありました。

また、外務省沖縄事務所から、米軍の実施する研修に沖縄理解増進セミナーを活用すること等の提案がありました。

当局から、外務省沖縄事務所とともに隊員教育や生活指導巡回を視察したこと、また、他の地域での取組み事例を紹介し、日本側メンバーの協力を得た共同の取組みも重要である旨を説明しました。

CWTにおいては、こうした取組に対して、相互に情報共有を行うとともに、その実効性を注視し、事件・事故の防止に向けて引き続き努力していくことを確認しました。



会議の様子

米軍航空機事故対応に関する米軍との合同実動訓練の実施について

3月1日、うるま市に所在するホワイト・ビーチ地区において、米軍航空機による墜落事故を想定した第11回日米合同実動訓練が行われました。

今回の訓練は、①米軍航空機がうるま市内の海岸(提供施設・区域外)に墜落・炎上、②事故発生の際に搭乗員数名が機外に脱出し負傷、③事故機の飛散物により、付近にいた住民数名が負傷したとの想定の下に行われたものです。

陸上では、日本の警察及び米軍の憲兵隊による現場周辺の規制が行われるとともに、日米双方の消防により、炎上する航空機への消火活動や負傷者の救急措置がとられました。一方、海上では、米軍及び第十一管区海上保安本部のヘリによる負傷者の救助が行われました。

訓練後、藤野沖縄危機管理官から「本日は、発生時の通報連絡、救出救助活動、消防活動、外周・内周規制、日米現場責任者による現場協議等の一連の初動対応の訓練を実施しました。その結果、日米の関係機関が連携し、迅速かつ円滑な初動対応が行われ、ガイドラインに沿った具体的な活動内容及び役割分担について理解を深めるなど、有意義な訓練となりました。」とのコメントをいただきました。



負傷者の救急措置の様子



ヘリによるつり上げ救助の様子

米軍再編に係る航空機の訓練移転

米軍再編に係るグアム等への航空機の訓練移転は、平成22年5月28日の「2+2」共同発表に基づく、嘉手納飛行場における更なる騒音軽減に資する措置であり、平成27年12月及び平成28年2月に嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練をグアム等へ移転して実施しました。

【訓練規模】

- ・岩国飛行場所属→グアム等 FA-18×8機、EA-6B×5機、人員420名程度
- ・嘉手納飛行場所属→三沢基地 F-15×12機、早期警戒管制機×1機、人員300名程度
- ・嘉手納飛行場所属→新田原基地 F-15×4機、人員50名程度
- ・三沢飛行場所属→グアム等 F-16×14機、人員280名程度
- ・嘉手納飛行場所属→グアム等 F-15×16機、空中給油機×1機、早期警戒管制機×2機、人員460名程度

○訓練移転期間中における嘉手納飛行場の平均騒音発生状況

項 目	騒音測定場所	
	嘉手納飛行場内 (国道側)北谷町	嘉手納飛行場内 (県道側)沖縄市
岩国飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成27年11月30日～12月20日	89.5W	89.9W
嘉手納飛行場所属→三沢基地の訓練移転期間の平均 平成27年12月3日～12月15日	89.4W	89.9W
嘉手納飛行場所属→新田原基地の訓練移転期間の平均 平成27年12月8日～12月11日	91.2W	91.8W
三沢飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成28年1月31日～2月28日	90.9W	94.4W
嘉手納飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成28年2月5日～2月27日	90.2W	93.5W
平成26年度平均	91.0W	92.1W
平成18年度(訓練移転開始前)	94.0W	94.2W

○訓練移転期間中における外来機と考えられる航空機の1日当たりの平均離着陸等回数(0600-1800)

項 目	戦闘機	戦闘機以外	合 計
岩国飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成27年11月30日～12月20日	24.8回	20.6回	45.4回
嘉手納飛行場所属→三沢基地の訓練移転期間の平均 平成27年12月3日～12月15日	24.2回	17.6回	41.8回
嘉手納飛行場所属→新田原基地の訓練移転期間の平均 平成27年12月8日～12月11日	32.3回	19.8回	52.1回
三沢飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成28年1月31日～2月28日	29.1回	23.6回	52.7回
嘉手納飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成28年2月5日～2月27日	20.3回	24.5回	44.8回
平成26年度平均	9.3回	19.9回	29.2回
平成22年度平均(目視調査開始)	21.1回	17.4回	38.5回

嘉手納町立嘉手納幼稚園が完成

4月6日、既設校舎の老朽化が著しいことから建設が進められていた嘉手納町立嘉手納幼稚園の園舎が完成し、落成式典が開催されました。

式典には、當山町長や嘉手納幼稚園の園児をはじめとして、学校関係者などが出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、沖縄防衛局が嘉手納飛行場を離発着する航空機による騒音を防止又は軽減するため、防衛施設周辺防音事業により、改築工事に併せて、空気調和設備(エアコン等)の設置等に要する費用について補助したものです。

本施設の防音工事を実施したことにより、未来を担う子ども達の教育環境が改善され、さらに、子ども達の個性がより育まれ、健やかに成長し、世界に羽ばたいていくことを願ってやみません。

当局としては、引き続き、地元のご要望に添えるように努めてまいるとともに、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んで参ります。



園舎の外観



テープカットの様子



【嘉手納幼稚園 金城教頭からのひとこと】

嘉手納幼稚園園舎の改築については、平成2年度から計画を推進し、この度沖縄防衛局からの防衛施設周辺防音事業の補助を受け、完成を見ることができました。また、平成28年度より3年保育も開始され教育環境の充実を図ることが出来ました。生涯の人格形成の基礎を培う重要な時期に、このようなすばらしい環境の下で教育活動が行えることに心から感謝しております。この広い園舎の中で、直接的・具体的な体験を通して、一人一人の幼児の発達を促していけるように努めてまいります。

幹部職員の紹介

平成28年4月1日付けで、茂籠調達部長が着任しましたので、ご挨拶いたします。



調達部長 **もろ 茂籠** はやと 勇人

4月1日付けで沖縄防衛局調達部長を拝命しました茂籠(もろ)と申します。少し変わった名字で、初めてお会いする方々から読み方をよく尋ねられますが、「もろ」と読みます。本省整備計画局から赴任して参りました。沖縄防衛局の勤務は初めてですが、沖縄で出会う生活、文化、伝統、そして人々に積極的に触れていき、様々な経験を積んでいきたいと考えております。

私が勤務する調達部の業務は、沖縄県内に所在する自衛隊や米軍が任務を遂行するための基盤となる施設の建設工事に係る調査・設計、工事監督・検査などを行う業務ですが、自衛隊や米軍に満足していただける施設を建設することはもちろん、地元沖縄の皆様のご意見にも耳を傾けながら、仕事に取り組んで参りたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

新規採用者の紹介



所属:総務課
氏名:宮城 魁
出身:沖縄県

私の出身地は北谷町で、米軍基地とは身近な場所に住んでいました。野球が好きで、大学時代は色々な球場へ友人とプロ野球観戦に出かけてました。早く業務を覚え、戦力となるよう頑張ります。



所属:総務課
氏名:宮里 公子
出身:沖縄県

昨年の10月に入局し、職場の雰囲気には慣れてきましたが、仕事に関しては勉強の毎日です。先輩方にフォローして頂きながら、日々頑張っています。好きな音楽を聴きながらの出勤時間が毎朝の楽しみです。安心して仕事を任せて頂けるように頑張りますので、これからもよろしくお願いします。



所属:会計課
氏名:大城 拓也
出身:沖縄県

4月1日付けで沖縄防衛局に入局し、一人暮らしも始めました。まだ仕事にも生活にも慣れてなくて大変ですが、何事にも楽しく取り組む事を意識して早く慣れるように頑張ります。今は料理を作れるようになりたくていろいろ挑戦していこうと思っています。



所属:地方調整課
氏名:安座間 貴裕
出身:沖縄県

沖縄防衛局の業務は始めて経験する事ばかりで大変ですが、優しい人ばかりの職場で安心してます。趣味はスポーツを行う事です。早く業務に慣れる様に頑張りますので、よろしくお願いします。



所属:移設整備課
氏名:宮城 航平
出身:沖縄県

入局してまだまだ不慣れな部分が多く、毎日が勉強の日々です。出勤時は家が遠い好きな歌を沢山聴きながら、楽しみながら通勤しています。これから頑張りますので、宜しくお願いいたします。



所属:施設対策計画課
氏名:池田 舞
出身:沖縄県

浦添市出身で笑う事と食べる事が大好きです。採用されて日も浅く毎日緊張ばかりですが、課の皆さんがサポートしてくれてとても心強いです。先輩方の背中を追いかけ頑張ります!(^_^)



所属:周辺環境整備課
氏名:宮城 沙也佳
出身:沖縄県

周辺環境整備課に配属されました宮城沙也佳と申します。課の皆さんがおもしろい方ばかりで楽しく過ごしています。業務にも早く慣れるように頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。



所属:防音対策課
氏名:山城 晴菜
出身:沖縄県

防音対策課の皆さんのおかげで、楽しく働くことができています。好きな食べ物は梅干しです。一日も早く仕事になれ、戦力となるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。



所属:住宅防音課
氏名:平安山 奈津子
出身:沖縄県

5ヶ月前の入局時は不安や戸惑いで一杯でしたが、明るく優しい課の皆さんに囲まれ、目まぐるしく充実した日々を送っています。安心して仕事を任せて頂けるよう、笑顔で前向きに頑張ります!



所属:建築課
氏名:佐藤 沙耶香
出身:兵庫県

沖縄での生活は文化などの違いに驚くことの連続ですが、そういった生活を楽しみつつ、これから一生懸命頑張っていきたいと思っています。



所属:土木課
氏名:古賀 久之
出身:福岡県

昨年11月に入局して、仕事にも慣れてきました。沖縄ということでマリンスポーツを楽しみにやってきました。仕事と遊びにメリハリを付けて一步一步成長していきたいです。



所属:土木課
氏名:井内 裕太
出身:徳島県

今年の4月より沖縄防衛局に配属になりました。沖縄で生活することも働くということも初めての経験でまだまだ拙い所ばかりですが、これからも一生懸命頑張りますので、宜しくお願いいたします。



所属:土木課
氏名:上田 絃太
出身:奈良県

好きなことはスポーツをすることで、学生の時は競技スキーをしていました。沖縄ではマリンスポーツを始めてみたいと思っています。今後は早く業務を覚え仕事を任せてもらえるよう頑張ります。



所属:土木課
氏名:酒井 一行
出身:愛知県

沖縄に来たのは初めてで、公私共に慣れないことも多々あります。早く一人前になれるように、毎日勉強していきます。プライベートでは、早く車を買って、色々な所に行ってみたいと思います。



所属:土木課
氏名:徳富 佳佑
出身:佐賀県

沖縄の土地勘が全くないので、週末はドライブをしています。夏にはスキューバダイビングをしたいと思っています。至らない点も多いですが、よろしくお願い致します。



所属:土木課
氏名:東崎 克彦
出身:兵庫県

この4月から沖縄に引越し、初の一人暮らしに臨んでいます。大学では茶道部に所属して稽古にいそんでいましたが、沖縄ではオンにオフにと体を動かす機会も目一杯作っていききたいと思います。



所属:土木課
氏名:藤井 達也
出身:北海道

入局してバスで通っておりますが、早朝の空気がとても心地よいです。北海道とは生活環境が違い、苦労することも多いとは思いますが、これから一生懸命頑張りますので、宜しくお願いします



所属:設備課
氏名:田巻 秀隆
出身:神奈川県

沖縄暮らしに最近やっと慣れてきたところで、各方面から自転車ではなく車が必要といわれていますが、自転車のみで戦っていきたいと思っています。車に届いた時は暖かい目で見守ってください。



所属:設備課
氏名:三浦 直明
出身:宮城県

少しずつ沖縄の生活にも慣れてきましたが、まだまだ日々の生活で戸惑うことが多いです。仕事だけではなく、沖縄の文化にたくさん触れていきたいと思っています。よろしくお願いします。



所属:業務課
氏名:島袋 宗斗
出身:沖縄県

昨年11月に入局し、大分業務には慣れてきましたが、まだ分からない事も多く、勉強の毎日です。仕事もプライベートも充実させ、日々成長していきたいと思っています。これからよろしくお願いします。



所属:業務課
氏名:熱田 美南海
出身:沖縄県

出身地の沖縄で、防衛行政に関わる仕事ができることを嬉しく思っています。これから勉強しつつ、国家公務員としての職務を全うできるよう、今の前にあることに全力を尽くしていきたいです。前向きな姿勢を忘れることなく頑張ります。



所属:施設補償課
氏名:當山 美和
出身:沖縄県

入局してまだ間もないですが、南城市から楽しく通勤しています。右も左も分からない未熟者ですが、できるだけ早く戦力となるよう精一杯頑張ります。宜しくお願いいたします



所属:労務管理官付
氏名:国吉 琢磨
出身:沖縄県

労務管理官付係員の国吉琢磨です。小学生の頃から野球をやっているため、仕事でもチームワークを大切にしながらがんばります。これからよろしくお願いします。



第24回伊江島一周マラソン大会に参加

4月9日、伊江村において、「第24回伊江島一周マラソン大会」が開催されました。

同大会は、伊江村ミースィ公園を発着点に、ハーフの部、3km、5km、10kmの4部門あわせ、島内外から2千人以上の方々が参加しました。

また、同大会では、伊江島補助飛行場内をコースの一部としていますが、これは、伊江島一周マラソン大会実行委員会からの要請に対して、米側の協力により、同飛行場内の一部をコースとして開放しているものです。

当局の井上局長をはじめ職員も参加し、地元住民からの温かい声援を背に受けながら、全員が完走しました。



ゴール後に記念撮影

キャンプ・ハンセンワールド フェイマス マッドラン (泥んこ障害物レース) 開催

4月24日、米海兵隊キャンプ・ハンセンにおいて、泥んこ障害物レース大会が開催されました。一般の日本人が参加できるようになって、今回は2回目。今回は700名程度が参加しましたが、うち3分の1程度が日本人でした。

レースコースの初めての障害は、泥の池にネットが張っており、その下をくぐるというもの。レースの初めに参加者全員を全身泥まみれにしてやろうという魂胆なのでしょう。その後、2~3m程度の土堤、足が抜けられないような粘度の高いぬかるみ、胸元まで浸かる泥の池などの障害が続きます。土堤は複数連っており、土堤間に泥水がたまっているため斜面はぬるぬるで、爪を立てて斜面を上がる努力が必要でした。そうした中、先に登った人が手を引いてくれたり、自分たちも後から来る人の手を引いたり、背中を支えたりと、日米の参加者相互の協力もあって、なんとか通過できました。ただ、斜面の勾配がきつく長いため、滑り降りる時に、太ももやふくらはぎ、手のひらが擦り傷だらけになりました。この土堤はいくつあったのか明確に覚えていないくらい数が多く、かなりハードでした。

当局からは調達部員を主体とする10名が参加しましたが、それぞれ50分から1時間程度の所要時間で見事に全員完走し、記念のメダルを手に入れました。

海兵隊員は、普段からこんな泥まみれの厳しい訓練しているのだろうと敬意を表しつつ、帰りはみんなで金武町のキングタコス!!山盛りのタコスとタコライスを食べ一杯して無事帰途に着きました。(防衛補佐官 1等空佐 浅沼 千代忠)



泥んこ障害物レースの様子



レースに参加した当局職員



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。
 連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室
 メールアドレス：houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp